

創立者墓参～ゆかりの地を訪ねて～

哲学の道の起点近く、熊野若王子神社から登山道を 20 分ほど進むと、新島襄先生、八重先生をはじめ同志社ゆかりの宣教師や人々が安らかに眠る墓地があります。

創立記念日と創始者・新島襄先生の永眠記念日には、毎年、同志社の大切な行事としてこの場所で祈祷会が行われ、愛を基とする建学の精神が語られます。

若い学生から年配者まで世代を超えた多くの人々が、この若王子山上に集い、神の前に感謝と祈りを捧げます。

4 月の墓参では、新島先生が愛唱された讃美歌を歌い、副校長の竹山先生から聖書のお話しと同志社ゆかりの人々のエピソードを伺い、花を手向けお参りをします。

下山後は、ランチをいただきながら時間の許す限り気軽にお喋りをする『大人の遠足』です。

いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。

－第 I コリント人への手紙 13 章 13 節





創立者墓参
～ゆかりの地を訪ねて～



参道を彩るミツバツツジ



哲学の道、山道入り口から 20 分



軽い山道に備え、入口から少し行く場所に、杖も用意されています。



杉の木立続く森林浴。



若王子山上へ。優しい風が頬を撫でます。



日本初の社会主義講義教育者
Learned 先生



新島襄の右腕的な存在
Davis 先生



「八重の桜」でも知られる
新島八重先生の墓石。
その兄で同志社設立の功労者、
山本覚馬の墓もあります。



創立者 新島襄 先生 墓石
「人 一人は大切なり」



Servant of God



副校長 竹山先生にご案内を頂きます。



山上で讚美歌♪



墓参の集合風景。皆さん軽装で日焼け対策も◇



祈祷会には数百名の人々が参列



秋の紅葉と差し込む光に照らされて。

Go, go, go in peace. Be strong! Mysterious Hand guide you! 新島 襄